

現場の声は届いていない・・・？

6月6日年度当初の県教委交渉その1

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
〔組合員の購読料は組合費に含む〕



2016.6.6 香教組の要請を聞く西原教育長（中央）

勤務成績の評価 および「指導が不適切な教員」の認定制度について

香教組 基本的には制度の導入には反対。法整備された以上、教職員が納得がいくような評価基準の作成と運用をお願いしたい。

県教委 教職員に納得していただけるようにHPにもUPし示している。評価基準についても、「着眼点の例」を示している。また、公正公平に評価するため、校長会を通して、十分に研修している。

香教組 3月25日の教職

香教組ホームページ
http://kakyoso.com/

6月6日（月）香教組は、県教委に対して2015年度の総括を踏まえ、①人事評価②長時間過密労働の解消③県学習状況調査④労働基本権の4点について重点的に要請しました。

員団体への説明会では、「これまでの勤務評価システムとあまり変わらない」と説明があった。透明なままなのではないか。

県教委 地域・学校によって児童生徒の様子も違うので、県下一律の評価基準を設定することが合理的とは思えない。各校で、管理職と十分に話し合い、基準が設定されていると理解している。

香教組 勤務評価やそれと勤勉手当とのリンクによって、現場では「自作のプリントを同僚に提供しない」「勤務が下がるから」と難しい学級はもたない」というようなことが起こっている。これは納得した形で評価がされていない弊害ではないのか。

県教委 今回の例は信じがたいが、そのようなことがないよう、評価については校長会できちんと研修している。

香教組 現場の教職員は納得できていない。引き続き検討していただきたい。組合としても要求し続ける。

長時間過密労働解消について

香教組 2012年からの「業務改善プラン」で、公的な研修や会議はかなり減った。県教委の努力は見える。

県教委 県教委としては、できることはやっている。校長会でも話している。「業務改善プラン」の成果はあったと考えている。

香教組 「教員業務改善検討委員会」の委員をみると現場の教員の声が上がっているとは思えない。教職員団体の代表も参加することも含め検討していただきたい。

県教委 現場の声は、校長会や教頭会を通じて、検討委員会に反映していると理解している。

香教組 確かに出張は減ったが、毎日の業務が軽減された感じはしない。本

教員業務改善検討委員会の委員

- ・市町教育委員会教育長
- ・香川県PTA連絡協議会
- ・香川県小学校長会
- ・香川県中学校長会
- ・香川県小中学校教頭会
- ・香川県公立小中学校事務職員協会

当に現場の状況は理解できているのか疑問だ。
県教委 (返答なし)

地方公務員法
第55条 地方公共団体の当局は、登録を受けた職員団体から、職員の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関し、及びこれに附帯して、社交的または厚生の活動を含む適法な係る事項に関し、適法な交渉の申し入れに応ずべき地位に立つものとする。
8項 本状に規定する適法な交渉は、勤務時間中においても行うことができる。

職員の職務に専念する義務の特例に関する規則
第2条 職員があらかじめ任命権者の承認を得て、職務に専念する義務を免除される場合は、次に掲げる場合とする。
(1) 職員が国又は他の地方公共団体その他の公共団体もしくはその職務と関連を有する公益に関する団体の事業又は事務に従事する場合

労働基本権について

香教組 組合員が職免で交渉にできることについて、管理職や教務が認めたくないような発言やそぶりをする例が増えてきている。管理職が知らないとは思わないが、校長会等できちんと指導して。
県教委 法令にのっとり、適切に対応されている。

小黑板
朝の連ドラは変わったが、この言葉がびつたりだった▼6月6日県教委交渉での、県教委の回答は、「え？」「そうだったの？」「現場はそうはなっていない」というものばかりだった。詳しくは「香川教育」次号に記載するので楽しみにしていたください▼これまでも、現場の実情と県教委の認識とのずれを感じることは多々あった。しかし、今回は開いた口がふさがらない▼小中学校は市町教育委員会に運用責任がある。勤務評価は、教頭・校長と評価した後、市町教委が調整する。その後、その結果が県教委に報告され、勤勉手当の支給率の検討がされる▼県教委は、勤務評価には直接関係していない。そのためか、「校長会で研修している」「適切に運用されていると理解している」と回答を繰り返す。学校訪問では何を見ているのだろうか。さらに言えば、見ようとしているだろうか▼長時間勤務の解消についても「業務改善プラン」は成果があったと繰り返す▼4年間の改善プラン。確かに出張は減ったが、根本的な解消にはなっていない。「本当に改善しなければならぬものは何なのか。現場目線で検討したのだろうか」と疑問が残る▼これまでも、県教委から「多忙ではない。多忙感だ」「残りたいのではないか」などの発言もあった▼県教委の発言は「びつくりぼん」の連発だ▼「どうしたもんじゃろうのう」

びつくりぼん!

めか、「校長会で研修している」「適切に運用されていると理解している」と回答を繰り返す。学校訪問では何を見ているのだろうか。さらに言えば、見ようとしているだろうか▼長時間勤務の解消についても「業務改善プラン」は成果があったと繰り返す▼4年間の改善プラン。確かに出張は減ったが、根本的な解消にはなっていない。「本当に改善しなければならぬものは何なのか。現場目線で検討したのだろうか」と疑問が残る▼これまでも、県教委から「多忙ではない。多忙感だ」「残りたいのではないか」などの発言もあった▼県教委の発言は「びつくりぼん」の連発だ▼「どうしたもんじゃろうのう」

三木町給食 自校方式継続決定!

各校の給食室に正規職員を配置 充実させたい (三木町長)

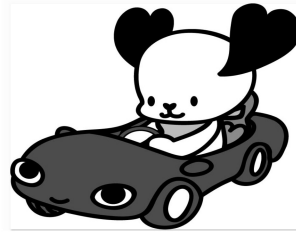
三木町では、2015年度春、町内校長会で突然、

「憲法を生かし地域経済と住民の暮らしを守る自治体努力を求め要請」をしています。「地域振興計画を策定し、住民のくらしと安全を守ること」「雇用を促進するために、中小企業を支援すること」「最低賃金を上げることで、そのための支援をすること」「これらを国へも要請すること」「子育てや防災についての施策を推進すること」などをお願いしています。香教組は、児童生徒の保護者の生活や働く環境が整うことは教育環境を整えることととらえ、現場での子どもたちや保護者のしんどさを具体的に知らせ、改善が急務であることを伝えました。

5月、香教組は県労連の自治体キャラバンに参加しました。自治体の子育て環境や働く環境について、首長に要請しました。三木町では「学校給食センター化」の話が白紙になったことがわかりました。

毎年、5月から6月にかけて、各自治体を訪問し、「学校給食センター化」が提案されました。香教組は、県内の「憲法を生かし地域経済と住民の暮らしを守る自治体努力を求め要請」をしています。「地域振興計画を策定し、住民のくらしと安全を守ること」「雇用を促進するために、中小企業を支援すること」「最低賃金を上げることで、そのための支援をすること」「これらを国へも要請すること」「子育てや防災についての施策を推進すること」などをお願いしています。香教組は、児童生徒の保護者の生活や働く環境が整うことは教育環境を整えることととらえ、現場での子どもたちや保護者のしんどさを具体的に知らせ、改善が急務であることを伝えました。

教職員の身分を守る全教自動車保険へ!



「全教自動車保険」は、東京海上日動と提携しています。全教専門のチームを作り、教員の身分を守りきることを最優先に事故対応をします。これまでに1人も失職させていません。あなたも、もしものために「全教自動車保険」へ

そろそろプールでの学習が始まったころでしょう。6月は水温・気温が低く、水の苦手な子どもたちにとっては試練です。7月の夏休み前になると、嫌がっていた子どもたちもプールに喜んで入るようになる経験をした人も多いと思います。

お風呂は大丈夫なのに、プールはだめという子は、結構多くいます。これは、水温・水圧・安定が大きく影響しています。人は胎内で羊水に浮かんでいましたから、基本的には水は大丈夫なはずですが、恐怖心があおりますが、歌は心が軽くなるから恐怖心が出てくるのは、プールの水は「冷たい」「水圧がかかる」「水の動きで体が意に反して動く」などが原因と言われています。夏休み前、水温が上がると比較的大丈夫になるのはその壁に向かってする「などの工夫で改善できる時間があります。」

私は、シャワーの時は、「チュールリップ」や「ぶんぶんぶん」などの歌を高学年でも歌います。これは、プール開きもそろそろ始まります。

シリーズ「子どもとかかわる」⑤
水を怖がる…
プール開きもそろそろ始まります。

第3回パワーアップ学習会のご案内

2017年度教員採用選考試験に向けて対策講座を開催します。2次試験に向け、「個人面接」のポイントをお話したり「論文添削」を行ったりします。お誘いあわせの上ご参加ください。

- 1 日時 8月12日(金) 18:00~20:30
 - 2 場所 高松テルサ 大会議室
 - 3 参加費 300円(資料代)
- どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。

これからのササケル「おおきなかなび」
（いずれも19:00~資料代100円 ※どなたでも参加できます）

- 高松会場(香教組会館2F) 6/21 7/5
- 丸亀会場(丸亀生涯学習センター5F) 6/29 7/13
- 大川会場(大川教育会館) 6/22 7/6
- 三豊会場(三豊教育会館) 6/27 7/11

全国寄宿舍学習交流集会in香川

テーマ「学ぼう 伝えよう 寄宿舍の魅力をもっと」
~その感動を 香川県で見つけるけん~

- 日時 7月30日(土) 12時30分~16時30分
7月31日(日) 9時30分~16時30分
- 場所 香川県社会福祉総合センター
- 内容
1日目 記念講演「寄宿舍がある学校の魅力と役割 —子どもたちが語っていること—」
猪狩恵美子 福岡女学院教授
知得講座(6講座)
2日目 実践分科会(5分科会)
- 参加費 2日間参加:3000円
1日のみ参加:2000円
学生・保護者:1000円
詳しくは香教組本部 TEL087-867-4797
kakyoso@kakyoso.com まで